

人の見廻り廃止を手始めに IoTによる計画保全を実現

お客様の工場では自動車や精密機器に用いられる電子基板を製造しており、多数のIC部品実装設備やはんだ設備の保守は、人の見廻りによる状態の監視や、故障が発生した後に修理を行う事後保全の状態でした。

お客様のプロフィール

会社名
電子部品製造工場様

従業員数
3,500人

電子部品

工場

業種
IC、電子制御機器の製造

所在地
国内1工場

導入前の課題

- 古い設備は現場まで行かないと状態が不明
- 大型の汎用設備は1-サー側で改造できない
- 同じ設備でも各々地があり故障が読めない

選んだ理由

- 古い設備にも使える後付け型の無線センサー
- 汎用設備に影響を与えず通信できる専用エッジ
- 各設備の地(傾向)を分析できるシステム機能

導入の効果

- 保全員による工場内見廻り業務を廃止
- 故障予知による計画保全で生産停止を回避
- 各設備の最適化による原材料投入コスト削減



- 2.0h/日の保全員による見廻り業務を廃止！
- 月に2~3度発生する1.0hの生産停止を根絶！
- はんだ工程のN2流量最適化でコストを削減！

ポイント

- a ▶ 古い設備の対応信号を後付けでIoT化
- b ▶ 生産現場で完結！本社情系の支援は不要
- c ▶ 分析画面や帳票を1-サーが自由に追加可能

導入費用・納期

- SMARTシリーズ(約70ライン) 1,000万円
- T-EDGEカスタム開発 400万円
- T-EDGE利用料 60万円/年
- 納期：約4カ月